

福祉教育講演会

～“自転車旅人”西川昌徳氏から生徒へ～



次代を担う中学生がものごとについて考える視野を広げ、さまざまなことに興味や関心を持ち、将来の夢や目標を持つことの大切さなどについて考えるきっかけとなるよう、日本や海外での過酷な自転車旅や被災地等でのボランティア活動を行っている、兵庫県姫路市出身の“自転車旅人”西川昌徳氏を招き、3月8日榛東中学校において福祉教育講演会を開催しました。写真や動画、実際に使用している道具等を使用し、自転車の旅を始めたきっかけから旅先での出来事や人々との触れ合い、夢や目標を持つことの大切さなど語って下さいました。子どもたちも興味深そうに話を聞いていました。帰り際、窓から「旅頑張ってください!!」「応援してます!!」「ありがとうございました」と生徒たちが声を掛けていました。



座談会



24年度、地域福祉計画及び地域福祉活動計画を身近な福祉の問題を明らかにし、課題を共有・整議会等と一緒に解決策を考え、地域福祉計画・地村民が地域でいきいきと生活できる環境やネットについて考えていくことを目的に、3月6日（北小催し、137名の方々が参加されました。

をカードに書き出し、その問題や課題は自分たちののか、そして、それはすぐに解決が必要なのか、のかを話し合い、課題解決の場と役割を考えました。多くいましたが、皆さん悩みながらも徐々に意見アップしているグループもありました。ゴミス高齢者等の見守り、高齢者の交通手段、子育てサ今後、座談会で出された問題や課題をもとに、地す。貴重なご意見ありがとうございました。

